

テニス競技

TENNIS

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 札幌市 一般財団法人札幌市体育協会
北海道 公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人日本テニス協会

2. 主管 北海道テニス協会 札幌テニス協会

3. 期 日 平成30年9月15日(土)から18日(火)まで(4日間)

種別	9月15日(土)	9月16日(日)	9月17日(月・祝)	9月18日(火)
男子シングルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
男子ダブルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
女子シングルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝
女子ダブルス	予選リーグ 1・2回戦	予選リーグ 2・3回戦	決勝トーナメント 1回戦・準々決勝	決勝トーナメント 準決勝・決勝

4. 会場 平岸庭球場 〒062-0935 北海道札幌市豊平区平岸5条19丁目

5. 参加人員

種別	監督	シングルス	ダブルス	合計
男子	各都道府県1名	48名	48組(96名)	191名
女子	各都道府県1名	48名	48組(96名)	191名

*各都道府県テニス協会より、全種目各1名・1組とし、開催県は各2名・2組とする。

*上記に加え、日韓スポーツ交流により派遣される韓国選手が加わる。韓国選手の参加人数は男女ともダブルス4ペア(各8名 合計16名)とする。

*種目により、組合せ抽選日に不参加県があり、欠員があるときは、あらかじめ順位をつけて複数参加(補欠)を申し出ている都道府県テニス協会を対象に、ベテラン JOP ランキング順で割り当てる。

*組合せ決定後、欠場選手が出た場合は、欠場選手所属の都道府県において選手を補充する。

*監督は選手兼任でも可とする。

6. 試合方法

(1) 使用球

①使用球は、ヨネックスTMP80とする。

②3セットマッチのボールチェンジは各セットごとに行い、1セット2個とする。

(但し、ファイナルセットはボールチェンジをしない。)

(2) 試合方法

①予選リーグ後、決勝トーナメントとする。

②予選リーグ：1セットマッチ

決勝トーナメント：1回戦・準々決勝は8ゲームプロセット

準決勝・決勝の第1・第2セットはタイブレークセットとし、第

3セットはスーパータイブレーク(10ポイント)の3セットマッチとする。

*すべての試合をノーアド方式とする。

③セルフジャッジ（ロービングアンパイア設置）とする。ただし、決勝戦はソロチェアアンパイア方式とする。

④本大会参加選手全員に、ベテランJOP配点表の別表、「日本スポーツマスターズ・テニス競技」のポイントが与えられ（下記配点の通り）、本人が希望する年齢のポイントに加算する。

《日本スポーツマスターズ配点表》（ベテランJOP配点表の別表）

優勝	100	B8	34
準優勝	70	B16	24
B4	49	予選敗退	16

⑤天候その他の事情により、会場・試合日程・試合方法が変更されることがある。

⑥日本テニス協会制定のポイントペナルティー制度を採用する。

⑦本大会は、「JTAテニスルールブック 2018」の規定に基づいて行うこととする。

7. 実施種目及び年齢基準

- [男子シングルス] 35歳以上(昭和58年12月31日以前に出生した者)
[男子ダブルス] 45歳以上(昭和48年12月31日以前に出生した者)
[女子シングルス] 40歳以上(昭和53年12月31日以前に出生した者)
[女子ダブルス] 40歳以上(昭和53年12月31日以前に出生した者)

8. 参加資格

- (1) 各都道府県テニス協会の加盟団体または個人登録者にして、参加申込締切日までに、平成30年度日本テニス協会選手登録者および競技者規程によるプロフェッショナル登録者とする。
- (2) 上記により、各都道府県テニス協会より選出された者。なお、その選出方法については、各都道府県テニス協会の任意とする。
- (3) 日韓スポーツ交流により派遣された韓国選手。
- (4) シングルス・ダブルスの両種目に出場することはできない。
- (5) 第73回国民体育大会テニス競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。
- (6) 各都道府県の監督をする者は、日本スポーツ協会公認テニス指導員・上級指導員・教師・上級教師・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有することが望ましい。

9. 表彰

- (1) 各種目の第1位から第5位(ベスト8)までの者(組)に、それぞれ賞状を授与する。
- (2) 各種目の第1位から第3位(ベスト4)までの者(組)に、それぞれ記念品を授与する。
- (3) 各都道府県テニス協会に対し、参加した男女各1名、1組が取得した、別に定めるトーナメント勝敗ポイントの集計により、それぞれ下記団体賞を別途授与する。
 - ① 各種目において複数参加の都道府県は、参加選手がそれぞれ取得したポイント中、高得点の集計点とする。
 - ② 第1位から第3位に賞状および記念品を授与する。
 - ③ トーナメント勝敗ポイントは、ベスト16…15点、ベスト8…20点、ベスト4…35点、準優勝…40点、優勝…50点とする。なお、リーグ戦敗者は5点とする。

10. 参加料

1人7,000円(監督専任者を除く)

*納入後の参加料は返金しない。

*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

11. 参加申込方法

- (1) 参加希望者は、所定用紙に必要事項を記入し、都道府県テニス協会へ申込む。但し、新規選手登録者は振込票兼受領証の写しを同封すること。
- (2) 都道府県テニス協会は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出し、所定の参加申込書を3部作成し、平成30年7月11日(水)必着にて、1部を都道府県体育・スポーツ協会に、2部を日本テニス協会に提出する。なお、参加料は都道府県テニス協会が取りまとめて、参加申込と同時に日本テニス協会に納入する。
- (3) 参加申込後に選手等変更することは原則として認めないが、変更希望がある場合は、当該都道府県テニス協会より日本テニス協会へ速やかに申し出ること。

12. 参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当(救急処置)を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、健康保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

13. 大会競技役員

大会ディレクター	山下 宏
アシスタントディレクター	清水 行海 蒲生 清 中西伊知郎
大会レフェリー	八木 真理
アシスタントレフェリー	奥村伊万秀 土佐 ケイ 太田 幸江

14. 宿泊・交通申込について

日本テニス協会は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通・弁当案内を都道府県テニス協会へ送付し、都道府県テニス協会は参加申込者に配布する。参加申込者は、宿泊・交通・弁当申込書に必要事項を明記の上、巻末の旅行会社各支店に提出する。

15. その他

- (1) 組合せ抽選会
日 時／平成30年7月25日(水) 12:00～16:00
会 場／公益財団法人日本スポーツ協会 101 会議室
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館1階 TEL:03-3481-2215
- (2) 練習コート
平岸庭球場で、9月14日(金)午前10時から練習が出来ます。
練習コートの割付は、上記組合せ結果と合わせて、事前にお知らせします。
- (3) 本部宿舎
未定 ドロー発表時にお知らせいたします。